

平成 21 年度 ヒヤリ・ハット体験調査

「幼児の身の回りの危険」

(インターネットアンケート)



平成 22 年 3 月

東京都生活文化スポーツ局消費生活部

目 次

1. 調査目的	- 1 -
2. 調査の概要.....	- 1 -
(1) 調査対象.....	- 1 -
(2) 調査時期.....	- 1 -
(3) 調査方法.....	- 1 -
(4) 調査内容.....	- 1 -
(5) 回答者の属性	- 2 -
3. 調査結果	- 3 -
(1) 幼児の身の回りにおけるヒヤリ・ハットや危害の体験(自由回答方式)	- 3 -
(2) 製品別のヒヤリ・ハットや危害の体験(自由回答方式).....	- 4 -
(3) 幼児の身の回りにおけるヒヤリ・ハットや危害の経験(選択回答方式)	- 27 -
(4) 年齢別にみたヒヤリ・ハットや危害の経験(選択回答方式)	- 28 -
4. まとめ.....	- 30 -
5. 結果の活用.....	- 30 -

1. 調査目的

商品・サービスに関する危害・危険のうち、「ヒヤリ・ハット」体験は消費生活センター等へ情報提供されることなく、多数埋もれている現状がある。これらの危害・危険につながる可能性のある商品・サービスの事例を積極的に掘り起こし、情報発信や改善要望を通じて、被害の未然防止・拡大防止を図ることを目的とする。

幼児は救急事故件数が多く、ヒヤリ・ハットの発生頻度が高いと考えられるため、本調査では、広く約4,000人を対象に潜在化している危険を調査した。

2. 調査の概要

(1) 調査対象

東京都（全域）に在住する1歳から6歳までの子供がいる人
4,064人（区部68%、市町村部32%^{注1}）

(2) 調査時期

平成21年8月5日（水）から8月24日（月）まで

(3) 調査方法

インターネットによるアンケート形式で実施。

本調査では、幼児の身の回りに潜む「ヒヤリ・ハット」事例を幅広く収集するため、自由記述式による回答を中心とした。

(4) 調査内容

本調査では、以下のア～カに示す6つの各危害内容ごとに、選択方式の設問で「ヒヤリ・ハットした」「危害にあった」と回答した項目の中から、ヒヤリ・ハットした体験と危害にあった体験をそれぞれ一事例ずつ選んで自由回答方式で回答してもらった。なお、ヒヤリ・ハットや危害を複数経験している場合には、最もケガ（ケガになる恐れ）が大きかった事例を記述することとした。自由回答は、状況別に整理した上で記述内容の類型化を行い、集計した。

また、幼児の身の回りの経験を6つの危害内容に分け、それぞれの危害内容に関係する商品群に関して、「ヒヤリ・ハットした」「危害にあった」経験の有無、ケガの程度、及び年齢について、選択方式の設問で回答してもらった。

【6つの危害内容】

- ア 「転倒・衝突」に関するヒヤリ・ハット/危害
- イ 「転落・墜落」に関するヒヤリ・ハット/危害
- ウ 「挟まれ」に関するヒヤリ・ハット/危害
- エ 「誤飲」に関するヒヤリ・ハット/危害
- オ 「やけど」に関するヒヤリ・ハット/危害
- カ 「その他」のヒヤリ・ハット/危害

ヒヤリ・ハットとは 実際にはケガには至らなかったが、ヒヤリとしたりハットとした事例
危害とは 商品などが原因で実際にケガや病気をした事例

注1) 区部と市町村部の集計比率は、平成21年1月1日現在の人口比程度とした。

(5) 回答者の属性

男女別	男性 52.0% (2,113人) 女性 48.0% (1,951人)
年齢	10代 : 0.0% (1人) 20代 : 6.3% (254人) 30代 : 63.3% (2,573人) 40代 : 28.9% (1,175人) 50代以上 : 1.5% (61人)

3. 調査結果

(1) 幼児の身の回りにおけるヒヤリ・ハットや危害の体験（自由回答方式）

本調査で収集したヒヤリ・ハットや危害体験の収集件数（自由回答方式による回答件数）を図1に示す。ヒヤリ・ハットや危害体験を自由回答した件数が最も多いのは、家具への衝突、次に多いのは自転車・三輪車での転倒であった。



図1 幼児の身の回りにおけるヒヤリ・ハット/危害体験収集件数（自由回答記述件数）

(2) 製品別のヒヤリ・ハットや危害の体験（自由回答方式）

本調査で収集したヒヤリ・ハットや危害体験の収集件数（自由回答方式による回答件数）を製品ごとにまとめたものを表1に示す。ヒヤリ・ハットが危害体験を自由記述した件数が最も多いのは、家具に関する事例であり、内容は家具への衝突、家具からの転落などであった。次に多いのは、自転車に関する事例で、内容は、自転車で転倒、自転車からの転落などであった。

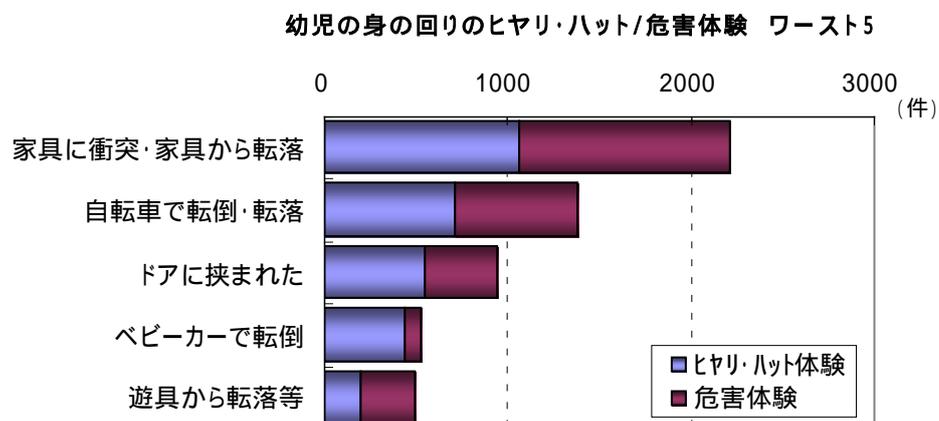
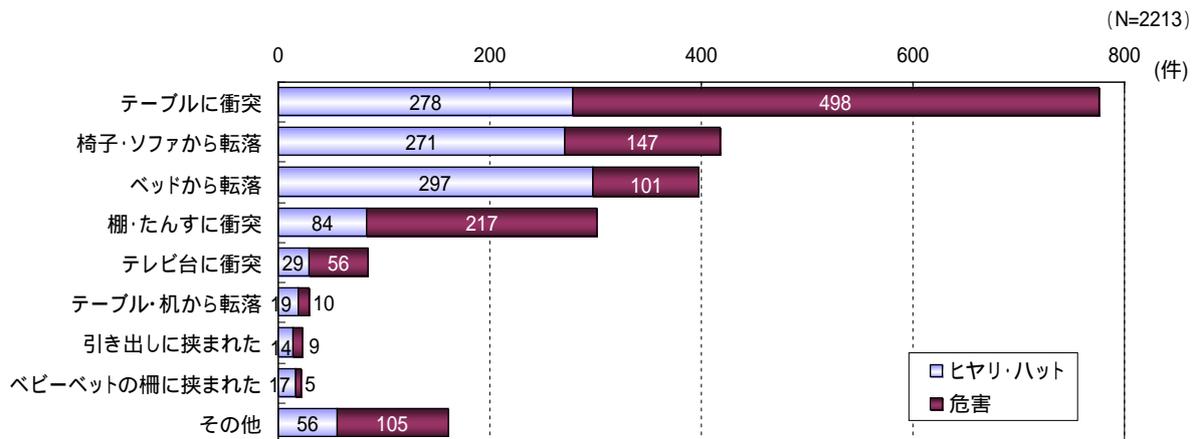


表1 製品別のヒヤリ・ハット/危害体験収集件数（自由回答記述件数）

	製品	主な危害内容	ヒヤリ・ハット (件)	危害 (件)	合計 (件)
1	家具	衝突・転落	1,065	1,148	2,213
2	自転車	転倒・転落・挟まれ	710	673	1,383
3	ドア	挟まれ	544	402	946
4	ベビーカー	転倒	436	86	522
5	遊具	転落・挟まれ	196	297	493
6	浴槽	転倒・転落	397	60	457
7	食器・調理器具	やけど	115	237	352
8	玩具	挟まれ・誤飲・やけど	179	121	300
9	家電製品	やけど	88	186	274
10	食品	誤飲	180	25	205
11	車	挟まれ	118	84	202
12	階段	転落	73	114	187
13	タバコ・電池	誤飲	85	81	166
14	化粧品・薬品類	誤飲	68	87	155
15	はさみ・カッター	切傷	51	75	126
16	履物	転倒	50	65	115
17	暖房器具	やけど	37	62	99
18	コンセント	感電	88	4	92
19	衣服	挟まれ	30	52	82
20	ベランダ	転落	32	16	48
21	その他		316	405	721
	合計		4,858	4,280	9,138

ア 『家具』からの転落では、転落時に周囲のものに衝突してケガの程度が重くなる場合がある。



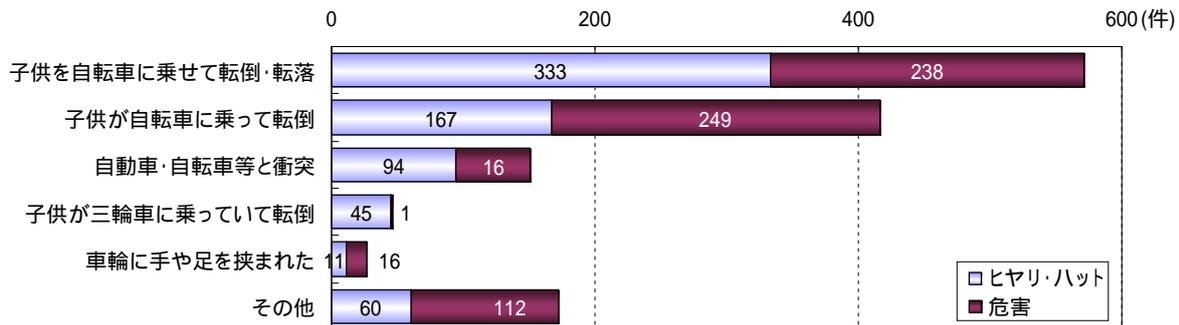
家具に関する事故では、テーブル等の家具に衝突する事例がヒヤリ・ハット事例 278 件、危害事例 498 件と最も多かった。ソファやベッドからの転落事故では、転落した際に周囲の家具に衝突したり、下に落ちていた玩具等でケガをする事例があった。また、子供や床で転倒した際に、中途半端に開いた家具の扉や引き出しに頭等をぶつけてケガをするケースもあった。ケガを防ぐためには、家具の周囲をよく整理し、配置を工夫することが必要である。

また、多くの家庭では、家具に取り付けるコーナーガードやベッドガード等の安全対策グッズを使用している。これらのグッズが効果を発揮しているケースもあるが、何らかの原因ではずれたり、子供がはずしてヒヤリとするケースもあった。取扱説明書をよく読み、定期的に点検することが重要である。

項目	内容	
テーブルに衝突	・1年前、居間に置いてあるガラスのテーブルの角に頭をぶつけてしまった。そうなる前に予防措置として机の角用のゴムを付けていたが、すぐにとれてしまい、たまたま外れていたところにぶつけてしまった。もう少し接着がきつめの方が良かった。	男子 1歳
	・リビングで歩き回って遊んでいたところ、フローリングの床で滑って、テーブルの角に頭をぶつけた。赤く腫れあがって大声で泣き出したので、しばらく冷やし続けた。	男子 1歳
	・当時4歳の次男が、長男と(当時6歳)ソファの上で飛んで遊んでいました。前においてあったテーブルに耳たぶを当て転倒。3ハリ縫いました。	男子 6歳
椅子・ソファから転落	・1ヶ月ほど前、1歳8ヶ月の娘がソファの肘掛の上に立って風船をつかもうとして床に顔の方から落ちた。唇を切り、額にたんこぶができたが、そのまま自然に治癒した。	女子 1歳
	・6年前、当時2歳だった息子がソファから転落した時、近くにおいてあった木のおもちゃに歯をぶつけ、出血し歯科を受診した。幸い、多少グラグラしていたが、神経には影響がなく治療もせずに済みました。	男子 2歳
ベッドから転落	・1歳の長女がベビーベッドから身を乗り出していました。手すりがついていましたが、身長は手すりを越えるくらい大きくなっていました。その手すりを越えて頭部より落下。	女子 1歳
	・1歳10ヶ月くらいのとき、寝室のベッドから寝ぼけて落ちて、落ちたところにプラスチック製のハンガーが落ちていて、眉毛の上を2箇所、1センチずつくらいきってしまった。ぱっくりと割れたような傷だったので病院へ行き、3針ずつくらい縫ってもらった。	男子 1歳
	・2年前、当時1歳の娘がベッドで寝ているとベッドガードがはずれ転落した。取り付け方が甘かったようだ。	女子 1歳
柵・たんすに衝突	・居間のサイドボードの引き出しが開いたままになっていた。そこへたまたま子供が倒れ、左こめかみ付近を角にぶつけた。内出血したため、整形外科でみてもらう。視神経への影響、骨の異常もなかった。	男子 1歳
	・子供が自分でたんすの引き出しを全部だし、バランスを失ったたんすが息子の上に倒れてきた。	男子 3歳
テレビ台に衝突	・最近、居間で遊んでいる時、1歳になる息子がテレビボードの角に頭を軽くぶつけました。テレビボードの角には、市販の保護用品(ゴム製)をつけていたので大きな怪我はありませんでした。	男子 1歳
	・テレビ台のガラス扉が中途半端に開いているところで転倒、扉の角に額を強打しコブができた。	男子 3歳
テーブル・机から転落	・台所に置いてあるダイニングのテーブルに1歳の娘がよじ登り、バランスを崩して落下しそうになった。	女子 1歳
引き出しに挟まれる	・数週間前、1歳の息子がリビングのテレビボードの引き出しを開け閉めして遊んでいたら指をそのまま挟みそうになって泣いたがけがははしていないようだった。	男子 1歳
ベビーベッドに挟まれる	・自分で立つ事ができるようになり、ベビーベッドの柵の止め具を触っていて、半分に折りたためることができるタイプのものであった為、パタンと倒して挟まれた。	女子 2歳
その他	・テーブルの角にはるコーナーガードを子供が噛み切り、誤飲の原因になった。	女子 1歳
	・半年くらい前にベッドガードを購入し、ベッドで寝かせていたがガードとベッドの間の隙間に子どもが落ちてしまい息ができなくなりそうになっていた。	男子 1歳

イ 『自転車』の事故では、子供を幼児座席に乗せた自転車が停車中倒れる事例が多い。

(N=1383)

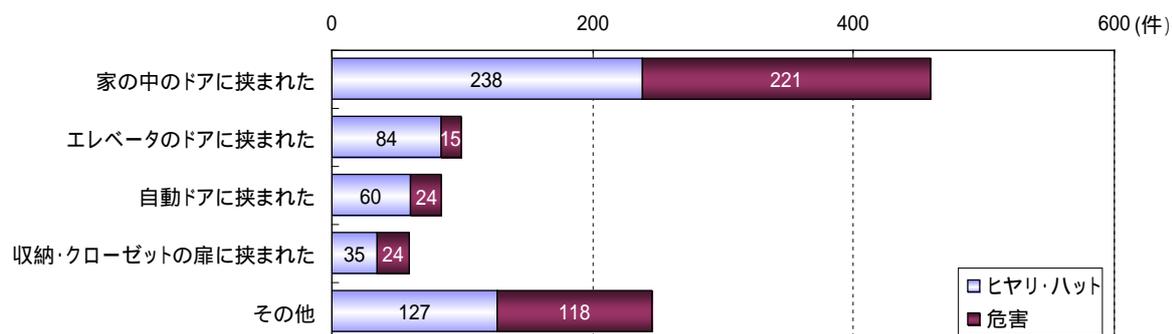


自転車に関する事故では、子供を幼児座席に乗せているときにヒヤリ・ハットしたりケガをする事例が、571件で子供が自転車に乗っているときよりも多い。幼児座席に乗せたときの事故としては、運転している最中だけでなく、子供を幼児座席に乗せた自転車が停車中倒れ、子供がケガをした報告も多い。幼児座席に乗せたときは、その場を離れないことや子供にはヘルメットを着用させることが重要である。

項目	内容	
子供を自転車に乗せて転倒・転落	・前乗りタイプの自転車に子どもを乗せて坂道を登っていたところ、当時1歳の子どもが持っていたおもちゃを落としてしまい、それを拾おうとして不安定な体勢となり、もう少しで倒れるところだった。	女子 1歳
	・自転車に3人乗りをしようとして、こぎだしたらバランスを崩しそのまま転倒。後ろに乗っていた6歳の子は肘をぶつけたのみであったが、前に乗っていた1歳の子は頭蓋底骨折で9日入院となった。	1歳 6歳
	・つい最近、3人乗りを購入したのですが、前に1歳児が乗るとかなりハンドルがとられ、後ろに5歳児が乗るのですが、ぐらぐら。特に坂を上る時は大変です。横に倒れました。	1歳 5歳
	・当時1歳の息子を自転車の補助椅子に座らせたまま目を離した隙に子供が動き、自転車が倒れて子供が前歯を強打し、歯にワイヤーを取り付けた。親の不注意であった。	男子 1歳
	・2年前、前かごが子供椅子になっている自転車で子供を乗せたまま玄関に止めてちょっとはなれたとき自転車が倒れて鼻骨骨折で1日入院した。	男子 4歳
子供が自転車で転倒	・三歳の時、身長割りに少し大きめの自転車を公園で乗っていて転倒し、遊具に前歯をぶつけ、流血。歯科医で診てもらった。前歯の神経が死んでしまいくろずんでしまっている。	女子 3歳
自動車・自転車と衝突	・自転車に乗れるようになったばかりで若干ふらふらしている所に後ろから車が来たので、「右に寄って」と後ろから声をかけたが、右と左を良く間違えていたため、左に寄ってしまい、車と接触した。	男子 6歳
	・お友達と自転車でぶつかりそのまま横に倒れ頭側面を強打し骨にヒビ入り入院。乗っていた自転車は手ではなく足でブレーキをかけるものだった。	男子 4歳
子供が三輪車で転倒	・三輪車で補助用ベルトがついているのだけど、自分でうまく外せてないまま降りようとして転倒、頭を打って救急でCTやレントゲンをとった。打撲だけですんだので良かったけど、それから今の5歳になるまで三輪車や自転車を乗らなかった。	男子 2歳
車輪に手や足を挟まれた	・自転車後部シートなしで乗せて走行中に足首を巻き込まれて怪我を負わせてしまった。	男子 5歳
その他	・公園で遊んだ帰りに娘を乗せて戻ろうとしたところ、後輪の荷台受けが外れた。娘は滑って上手に着地したため無傷でしたが、少しびっくりしました。帰ってすぐに修理をしましたが、4年前に買った物がこんなに早く壊れるとは驚きました。	女子 4歳

ウ 家の中の『ドア』は、すき間に注意！床とドアの間に足の指を挟み、爪をはがした事例も。

(N=946)



ドアに関する事故は、家の中のドアに挟まれる事故が459件で最も多かった。家の中のドアに挟まれる事例の中にはドアの下部に通気用のすき間があるドア^{注2}など近年普及してきたタイプのドアに関係すると思われる事例もあった。また、自動ドアの事例では、センサーが子供の動きを感知せずに、挟まれそうになる事例が多くあった。自動ドアは、ななめから侵入したり、駆け込んだりするとセンサーが反応しない場合もあるので、自動ドアを通る時は子供と一緒に通るのが望ましい。他には、襖、窓、シャッターに挟まれる事例があった。



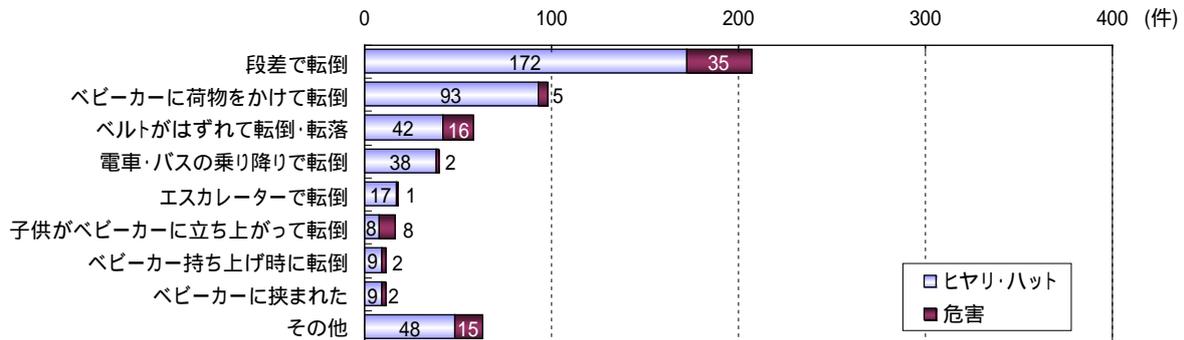
通気用のすき間
(アンダーカット)

項目	内容	
家の中のドアに挟まれた	・台所で換気扇を回しており、部屋に負圧がかかり扉が閉まった。その際、子どもが指を挟みそうになった。	女子 1歳
	・子どもが3～6才の頃、出かけようとして玄関ドアを開けていて、子どもが蝶番の隙間の所に手をかけているのに気がつかず、締めてしまったとき、指の爪をはがされてしまった。	女子 3歳
	・24時間換気のために、各居室のドアの下が数センチ開いているが、部屋を移動する際、大人だったら入らないドアの下の隙間に足の指を挟み、足の皮がめくれる怪我を数回した。	男子 4歳
	・子供が歩けるようになってから、家中のドアというドアの下にあるほんのちょっとの隙間に足をはさまれて、つめがはがれそうになったり内出血している。	男子 2歳
エレベーターのドアに挟まれた	・自宅マンションのエレベーターのドアが開くときに手をドアにつけていたため、2枚ドアの間に子供の人さし指を挟まれたが、ドアが異常を感知して、すぐに閉まったため指がすぐに解放された。	男子 2歳
自動ドアに挟まれた	・3歳の娘が店に入ろうとした。自動ドアは開いている状態だったが、娘が通るときに閉まりかけてセンサーが反応せずそのまま閉まりそうになった。私がすぐに後を追って入ったのでセンサーが作動して再び自動ドアが開いたので、ケガはなかった。	女子 3歳
	・マンションのオートロックのガラスの自動ドアに触れていた際、ドアが空いた時に手が一緒に引き込まれてしまった。手に擦り傷ができた程度ですんだ。	女子 4歳
クローゼットのドアに挟まれた	・中折れ式のクローゼットを閉めるとき、蝶番部分を押し閉めてしまい指が挟まれ血豆ができた。	男子 1歳
その他	・家のシャッターを私が下ろすときに、子供が頭を出していたのに、よく見ていなかったのでもそのまま下ろしてしまった。怪我は無かった。	女子 4歳

注2)平成15年7月に施行された改正建築基準法により、シックハウス対策として機械換気設備の設置が義務づけられた。住宅で廊下などを換気経路とする場合、ドアの下部に通気用のすき間を設けたドア(アンダーカットを設けたドア)や換気ガラリを設けたドアを使用した換気方式をとっていることが多い。その他の住宅でもトイレ等のドアで使用されている場合がある。

エ 『ベビーカー』は、段差で転倒が最多。取っ手の荷物の重みでバランスをくずして転倒も。

(N=522)

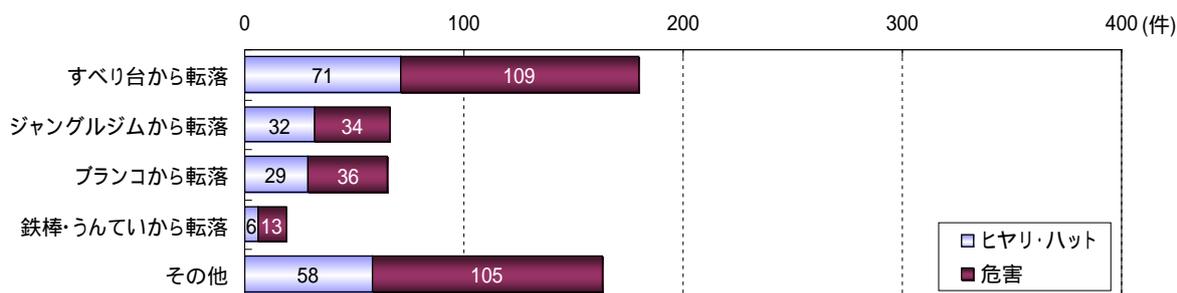


ベビーカーの事故は、段差で転倒する事例が最も多い。次に多いのは、取手やフックに重い荷物をかけ、その重みで転倒するケースである。また、ベルトがはずれたり、子供がベルトをはずすなどして、ベビーカーに立ち上がり、バランスをくずして転倒する事例もある。安全にベビーカーを使用するためには、取扱説明書に記載された注意事項などを十分理解しておくことが重要である。

項目	内容	
段差で転倒	・ 2 ヶ月前に、1 歳の息子をベビーカーに乗せて歩いていたところ、段差が生じた道路を乗り上げた際に車輪が突然ロックし、子供が前のめりになった。	男子 1 歳
ベビーカーに荷物をかけて転倒	・ 1 歳の娘をベビーカーに乗せて、押し手の所に、別売りのベビーカー用フックを付け、荷物をかけていたため、段差を超えるときに後ろに傾きすぎて子供ごとベビーカーを倒しそうになった。	女子 1 歳
ベルトがはずれて転倒・転落	・ 1 歳 11 ヶ月の頃、ベビーカーに乗せていたら、自分でベルトをはずし、後ろ向きになり身を乗り出してしまった。荷物もかけていたのもあって、重みでベビーカーが後方に倒れてしまった。幸い荷物がクッションがわりで怪我はしなかった。	男子 1 歳
	・ 息子が一歳になったばかりのころ、ベビーカーのベルトを締め忘れて、息子がベビーカーから転落した。けがはなかった。	男子 1 歳
電車乗降時に転倒	・ 一歳半ぐらいの時、電車から降りようとして前輪がホームと電車の隙間に挟まって危うくベビーカーから落ちそうになった。電車の乗り降りには乗る時より降りるときのほうが危ない。	男子 1 歳
エスカレーターで転倒	・ 子供をベビーカーに乗せてスーパーのエスカレーターで 2 階へ上ろうとしたところ、エスカレーターの幅が一人分しかなくて周囲の壁とベビーカーが接触し、引っかかって転倒した。	女子 2 歳
ベビーカーに立ち上がって転倒	・ ベビーカーのいすの上にひざで立ち、後ろを向いたとき、後ろに荷重がかかって転倒してしまった。顔をぶつけて擦り傷が出来た。	男子 2 歳
ベビーカー持ち上げ時に転倒	・ 6 歳娘が 1 歳当時にデパートの階段をベビーカーを抱えて降りようとしたときに、ベビーカーが折り畳まれ、バランスを崩して転倒しそうになった。	女子 1 歳
ベビーカーに挟まれた	・ 娘が 2 歳になったばかりの頃 B 型のキャリアタイプのベビーカーを押したがるようにたたむときに手があるのに気づかずはさんでしまった。	女子 2 歳
その他	・ ベビーカーのタイヤが異なる方向に曲がり急にブレーキがかかったため、前のめりになった。子供は道路へ落ちた。	男子 2 歳
	・ ベビーカーに上の子供がのるステップをつけて、散歩していたら段差でゆれた際に、ベビーカーのハンドルにステップに乗っていた子供が前歯をぶつけて神経がぬけた。	男子 1 歳

オ 『遊具』は、すべり台からの転落が最も多い。次いでジャングルジムからの転落。

(N=493)



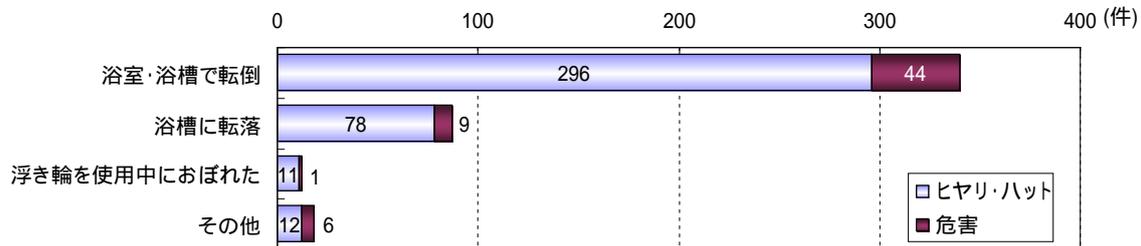
遊具の事例としては、すべり台やジャングルジムなど公園の遊具からの転落事故がほとんどであった。ジャングルジムの場合は、家庭内に組み立てたジャングルジムから転落する事故も複数あった。

他には、滑り台のローラーの間に手を挟んだ事故や、他の子供が乗っているブランコに衝突し転倒した事例もあった。

項目	内容	
すべり台から転落	・波打った滑り台で、体重が軽すぎたのか、その波でジャンプ台のように体が浮き上がり、滑り台から落ちそうになった。	男子 2歳
	・ローラーすべり台から飛び降りようとしたとき、足元のローラーが回って飛ばず、そのまま地面に顔から落ちた。口のあたりを少し切って出血したが、軽傷だったので特に医療機関に連れて行くようなことはしなかった。	男子 3歳
ジャングルジムから転落	・室内で遊ぶジャングルジムで遊んでいて、足を踏み外したり、留め口がはずれやすくなっていたりしていたため落ちたりしている。	男子 2歳
	・ジャングルジムで手が離れて、額を強打した。若干出血しこぶができたが、薬をすぐ塗り、冷やして様子を見たところ、特にその後変わった様子もなかった。	男子 4歳
ブランコから転落	・ブランコに乗っていて、自分でこぐことはできないので親が押していたのだが、強く押しすぎてブランコから落ちてしまった。	女子 2歳
鉄棒・うんていから転落	・公園のうんていで、幼稚園でやっているようにどんどん進んで行ったら、最後の降りところで足がつかないことに気づいた。しばらくはぶら下がっていられましたが、力尽きて下に落ちてしまい、膝や肘をすりむくけがをしました。	女子 4歳
その他	・まだ、未就園児だったころ、公園のすべり台で滑る部分がローラーだったため、そのローラーの間に指を挟み込んでしまった。	男子 3歳
	・3年前、当時2歳の息子が他の子が遊んでいるブランコの前行き、ブランコのいすと衝突し、転倒した。病院を受診し、レントゲン等の確認の結果、異常はなかった。	男子 2歳
	・1年前の3歳の時公園でブランコに乗っていて手で持つところのチェーンに腕の肉を挟んでしまい内出血してしまいしばらくあざになってしまった。	女子 3歳
	・3ヶ月ほど前に公園の滑り台の金属部分の錆が発生している部分が、ささくれのようになっており、2歳の娘が触って、怪我をした。	女子 2歳

カ 『浴槽』では、足を滑らせ転倒。風呂用浮き輪やフタの上で子供を待たせ、転覆・転落した事例も。

(N=457)



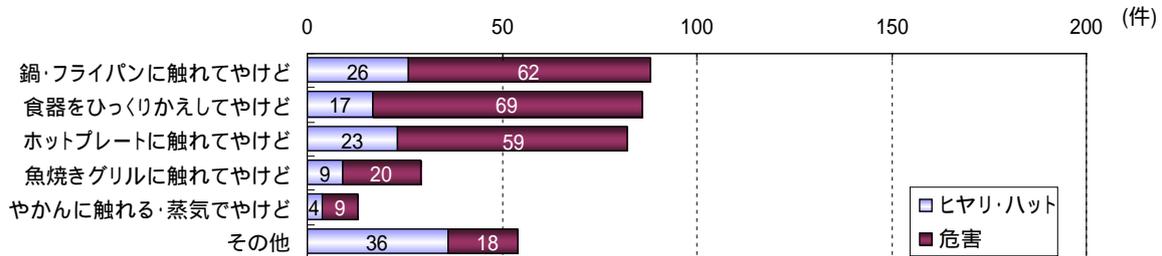
浴槽での事故は、浴室の床や浴槽内で滑って転倒する事故が圧倒的に多い。これに続いて浴槽に転落する事故が多く、子供がフタの上で遊んでいて転落する事例や、子供が1歳程度と小さい場合に親が子供をフタの上に寝かせるなどして転落する事例があった。

お風呂用の浮き輪にも注意が必要である。浮き輪に座らせていた子供が、目を離した隙にひっくり返っていた事例も報告されている。

項目	内容	
浴室・浴槽で転倒	・入浴中お風呂の底で足を滑らせておぼれかけた。システムバスの浴槽で滑り止めはついていますが、おそらく滑り止めと滑り止めの間で滑ったらしい。	男子 2歳
	・浴室で、バランスを崩して転んだ。介護用のバーに腕がはまってしまい、怪我をしそうになった。	女子 3歳
	・浴槽内で滑って転んだときに髪の毛が栓の数珠状の金具に水中で引っかかり慌てた。	女子 1歳
	・私と次女がお風呂に入っていたときのことで、わが家は24時間風呂で普段はジェットバスにしておいているのですが、その音が意外にうるさく、私が頭を洗っているとき、1歳半くらいの次女が浴槽で足を滑らせていたのに気づきませんでした。幸い次女は自力で立ち上がったのですが、かなりヒヤリとした出来事でした。それ以降、お風呂に入ったらまずジェットバスの音を消してから入るようにしています。	女子 3歳
	・当時4歳の娘が入浴後お風呂場を出ようとしてお風呂場の床がすべり壁に取り付けてある金属製の手すりであごを打ちあごがぱっくり割れて救急で見てもらいました。幸い、傷はすっぱり切れていたため、縫わずに済みましたがあとが残っています。	女子 4歳
	・2ヶ月前、当時1歳4ヶ月の娘を浅めにお湯を張った浴槽に入れたまま私自身は浴槽外で体を洗っていたところ、浴槽の栓にチェーンでつなげてぶかぶか浮かぶおもちゃのチェーン部分に足をからませて転倒、おぼれかけていた。	女子 1歳
浴槽に転落	・子どもが1歳のとき、一緒にお風呂に入っていて、洗い場から浴槽の中のおもちゃを取ろうとして落っこちた。一緒に入っていたので事なきを得たが、少しでも救出が遅れたりしたら大変なことになっていたと思う。	男子 1歳
	・当時2歳の娘が風呂場で浴槽の蓋の上で遊んでいたところ、蓋が壊れてあやうく浴槽に落ちるところだった。	女子 2歳
	・3年前上の子が1歳の時、お風呂あがるときに風呂ふたの上にタオルをしいてそこに寝かせてふいて、それから自分もタオルふいて出るということをしていた(もともと危険かも)そうしたら子供が暴れたら蓋がずれて、浴槽におちておぼれそうになった。	男子 1歳
	・風呂から出る際に浴槽の蓋の上で待たせていたが、動いたために転落、頭を打ち、コブができたので病院へ、レントゲンの結果異常はなかった。	女子 1歳
浮き輪使用中	・当時3歳の娘をお風呂用の浮き輪に入れて、浴槽につからせて、その間に下の子の体を洗ったりして、気がついたら、浮き輪ごとひっくり返っていた。幸いすぐに気がついたので、大丈夫だった。	女子 3歳
	・娘が1歳の頃、お風呂用の浮き輪に座らせ、シャンプーしていたら、浮き輪に穴が開いていたようで、顔がお湯につかってしまった。	女子 1歳

キ 『食器・調理器具』は、使用直後のまだ熱い調理器具に触ってやけど。ランチョンマットを引っ張って、食器を倒す場合もある。

(N=352)



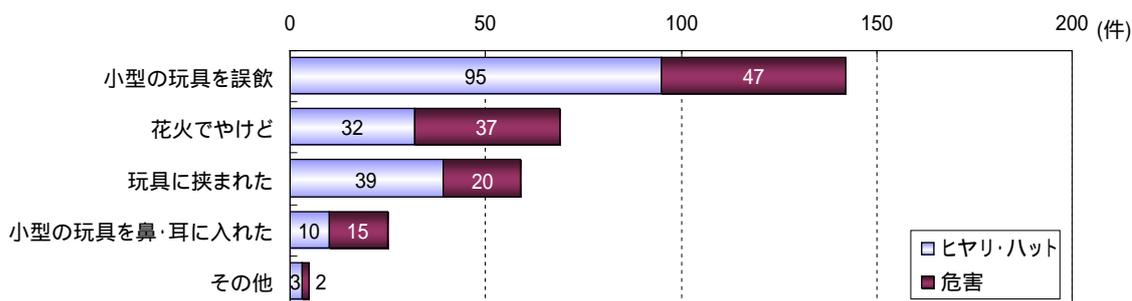
食器・調理器具の事故事例では、鍋、フライパン等の加熱調理器具に触れてやけどする事例の他、テーブルの上に置いてある食器類をひっくりかえしてやけどしてしまう例もあった。鍋、ホットプレートによる危害では、加熱中だけでなく、加熱後のまだ熱い調理器具に触れてやけどをする事例もあり、使用後も十分な注意が必要である。

他には、熱くなった食器に触れてやけどをしたり、食器を落としてケガをした事例があった。

項目	内容	
鍋等に触れてやけど	・アイランド型キッチンの対面側にあるいすに2歳の子供がよじ登って立ち、IHコンロにかけてあるなべに手をのばした。触る寸前に気がついたためなべを触らずにすんだ。	女子 2歳
	・1ヶ月ほど前、1歳半の娘にフライパンでホットケーキを作っていた。フライパンがキャラクターの柄だったため、娘がそれを触りたがって、まだ冷めていないうちに触ってしまった。	女子 1歳
食器を倒してやけど	・3ヶ月前、リビングのテーブルからランチョンマットがはみ出しており、マットには作りたてのみそ汁が入ったお椀が載っており、娘はそのことを知らずに、テーブルの下から手を伸ばし、マットの端を引っ張って、みそ汁をあやうく頭からかぶるところだった。	女子 1歳
	・入れたばかりのコーヒーをテーブルの端に置いた直後、息子がてを伸ばしてカップを倒してしまい、お腹にコーヒーを浴びてしまった。水ぶくれになったので皮膚科を受診。	男子 3歳
ホットプレートに触れてやけど	・食事で使用したホットプレートを床に置いて、テーブルを掃除していたところ、まだ熱かったホットプレートに足のスネ付近を付けてしまった。火傷の程度はそれほどでもなかったため、病院にはいかなかった。	女子 1歳
魚焼きグリルに触れてやけど	・当時2歳の息子が台所に入った際、使用直後でまだ熱い魚焼グリルに触れてしまい、指を火傷してしまった。すぐに病院を受診し、薬をもらって2週間程度で完治した。	男子 2歳
やかんでやけど	・水を沸かした後、冷ましていたやかんに触った。指の一部が赤くなり、流水で処置した。水ぶくれにもならず、病院にも行っていない。薬を塗った。	女子 3歳
その他	・1年くらい前、IHコンロを購入したところ、お湯が沸いているのに炎が出ないのを不思議に思って触ろうとしてあやうくやけどしそうになった。	男子 4歳
	・電子レンジで温めたばかりの料理の皿を、食事を待ち切れなかった3歳の息子が触ってしまい、指先を火傷したが、病院は受診しませんでした。	男子 3歳
	・台所で遊ぶのが好きで、つかまり立ちができるようになり、ガステーブルのスイッチにも手が届くようになってきたころ、自分で火をつけられるようになって、気づいたらなべを空焚きしていたことがあった。	女子 1歳
	・冷蔵庫から食べ物を取り出そうとした際、中に入っている別のお皿が右足の親指に落ちてしまい、指が切れて大量に出血した。血が止まらないため病院で止血の手当をした。完治するまで数週間かかった。	女子 1歳

ク ビーズなど小型の『玩具』を鼻や耳に入れて、医療機関を受診。

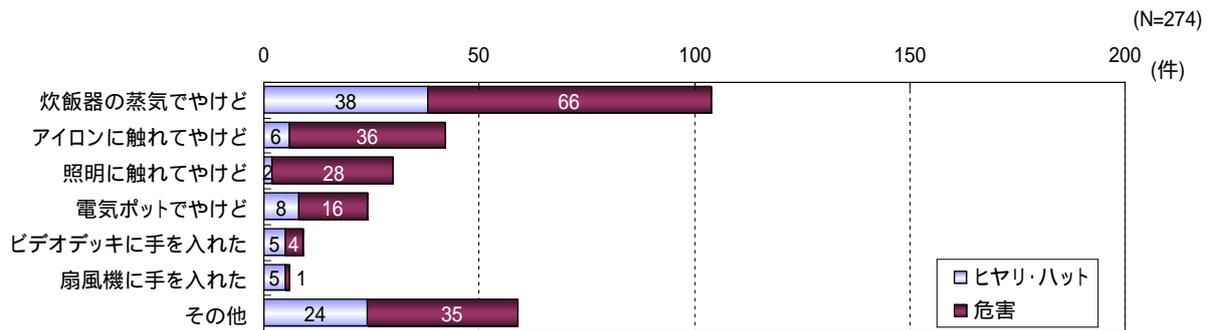
(N=300)



玩具に関する事例では、小型の玩具の誤飲が最も多く、花火でのやけどがこれに次いで多かった。ビーズなどの小型の玩具を鼻や耳に入れてしまう事例では、耳鼻科を受診したケースも多い。こうした玩具では、年上の兄弟が遊んでいるものに手を伸ばすなどして、玩具の対象年齢よりも下の子供が事故にあうこともある。商品に表示された対象年齢を確認し、子供の発達段階にあわせた玩具で遊ばせるよう注意する必要がある。

項目	内容	
小型の玩具を誤飲	・数週間前、2歳の娘が、3歳の息子が遊んでたビー玉を口に入れてあめ玉をなめるようにして遊んでいた。びっくりして、すぐに口から出して、娘に注意した。	女子 2歳
	・1歳半前、おもまごとのエンジンを細かく切ったあと、口に入れるふり（入れては出す）を繰り返していたとき、突然「オエ」といってひとかけら出した（飲み込みそうになって出した）ときがあり、ハットしました。もともと適用年齢3歳以上なのに与えた親が悪く、当該エンジンは現在はお蔵入りとなっています。	女子 1歳
花火でやけど	・手に持つ花火を楽しんだ経験がほとんどなく、下に向けるものだということを知らなかったため、火のついたほうを自分の顔の前にして持っていたのであわてて下に向けさせた。やけどはしなかったのがよかったが、驚いた。	女子 4歳
	・2週間前に花火で指をやけどした。火が消えたあとすぐに消えた部分をさわってしまっすぐに水膨れになって軽傷だったので化膿止めを塗ってしばらく様子を見て。今はだいぶよくなってきた。	女子 2歳
玩具に挟まれた	・かぎをつかってドアをあけるおもちゃ。2歳年上の子と遊んでいて指があるのに、その年上の子が無理やりそのドアをしめようとして挟まった。	女子 1歳
	・電車のおもちゃでドアが開閉するタイプで指が挟まってしまい内出血した。対象年齢が6歳からだったので、少し早すぎた。	男子 2歳
小型の玩具を鼻・耳に入れた	・2歳の時に娘がビーズ遊びをしていた。しばらくしてから子供が「鼻に入れちゃった」と見せに来た。コーン粒くらいの大きさのものを入れていて、自力でも母親でも取れなかったのですぐに耳鼻科を受診し取ってもらった。	女子 2歳
	・公園でビービー弾を拾ってきたらしい3歳の息子が、耳に入れてしまった。誰も持って帰ったのを知らなかったため、耳に何か詰めているのも知らなかった。見ると奥に入っているため受診した。	男子 3歳
その他	・電車のおもちゃで、先頭の動力がついている車両で遊んでいたら、スイッチを入れたまま頭をこすってしまい、車輪が髪の毛を巻き込んでしまった。	男子 3歳
	・当時一歳の娘が、教材のシールを誤飲し、変な咳をしたので、すぐに気付き吐き出させた。すぐに気がついたため、受診はしなかった。シールは紙でなく、なんどもはりなおせるプラスチックのような素材で、喉に詰まったらしい。	女子 1歳

ケ 『家電製品』では、炊飯器の蒸気でやけどをする事例がトップ。低い位置に設置された照明でもやけどをしている。



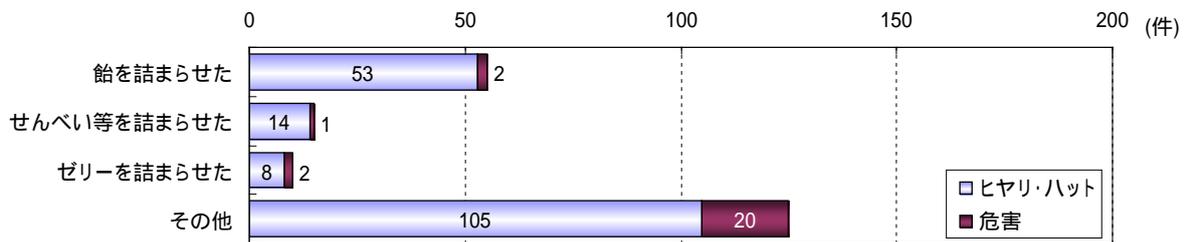
家電製品では、炊飯器の蒸気でやけどした事例が最も多かった。子供は炊飯器の蒸気にかなり強い興味を示しているようで、手の届かないところに置いていても椅子等を利用して手を触れる事例もあった。照明等でやけどする事故では、外出先で間接照明やオブジェの照明等低い位置にある照明に触れてやけどする事例が複数あった。

他には、コーヒーマーカーや加湿器に触れてやけどをしたり、冷蔵庫の扉に挟まれる事例があった。

項目	内容	年齢・性別
炊飯器の蒸気でやけど	・ご飯が炊きあがって息子が炊飯ジャーの蓋を開けたがったので開けさせたら蒸気が上がって少し指が赤くなりました。	男子 4歳
	・娘が3歳半の頃、届かない位置に置いていた炊飯器だが、椅子に乗って炊飯器の蒸気を触り指先をやけどをした。すぐに気付いて水で冷やしたが、水ぶくれになった。	女子 3歳
	・炊飯器を新しく変えた日に早速ご飯を炊きました。シュシュシュと音のする炊飯器に触りたくてベビーチェアを引かずってまで持っていき上って蒸気の出ている穴に触ったようでした。かなり泣いていましたがすぐに冷やしすぐ赤みも引いて痛くないと言っていたので薬をとりあえず塗っておきました。	男子 1歳
アイロンでやけど	・使い終わったアイロンを冷ますために机の上に置いておいたところ、4歳の長男が触ろうとしていた。親を真似てごっこ遊びをしようとしてたらしい。コードレスのため電化製品という認識をできなかったようだ。	男子 4歳
	・当時1歳過ぎだった娘が、アイロンのボタンをつけてしまい、いつの間にか通電していた。そして、熱くなったアイロンを持ち上げ、自分の足の上に落としてしまい、やけどをした。アイロンは以前からつかっているコードレスのものでした。	女子 1歳
照明器具でやけど	・百貨店内の飲食店の順番を待っていたところ、下から照らすような照明が、ちょうど子供の目につくところにありさわってしまい軽いやけどをした。	女子 3歳
	・つい一週間前、6歳の長女がベッドサイドに置いてある照明に手をいれ、裸の電球を「熱いのか」と思って触った。人差し指の先を一センチくらい火傷した。すぐに冷やして水ぶくれになり今は治っている。その翌日2歳の息子が同じようにさわって、指先を火傷した。	女子 6歳
電気ポットでやけど	・ソファの奥のテーブルにあった、電気ポットの再沸騰ボタンを押してしまい、その蒸気でやけどをした。ソファに上れるとは思っておらず、またポットのボタンも押せると想定していなかったためにやけどさせてしまった。	男子 1歳
ビデオデッキに手を入れた	・ビデオデッキのテープ挿入口に食パンを入れて手が抜けなくなった。手を開かせて少しずつ抜いた。特に怪我はなし。	男子 2歳
扇風機に手を入れた	・1週間前扇風機が回っているときに、息子が何気なく扇風機に触り、扇風機カバー(網)の間隔が広がっている部分があり、息子の左人差し指が入ってしまい、指に擦り傷ができた。	男子 4歳
その他	・2歳の息子が、食器洗い機の乾燥中の排気の前にちょうど顔が当たってしまい、軽くやけどをした。食器洗い機はビルトインのものです。	男子 2歳
	・ボタンを押すと扉が開くタイプで閉まる時に子供の指が挟まったまま閉まってしまった。指は軽い打撲で済んだので湿布をする処置で済んだが、ものが挟まっても閉まってしまうのは怖い。	女子 2歳
	・4年前、当時1歳の息子を加湿器を置いた居間に座らせていたところ、湯気で手の甲を皮がむける火傷をした。夜だったが、市の夜間の診療所に連れていき、塗り薬と包帯をしてもらった。加湿器は水を入れたペットボトルを逆さに設置して加湿するタイプのものだった。	男子 1歳

コ 『食品』は飴やせんべい、ゼリーなどでの窒息に注意！口にいったまま遊んでいて、何かの拍子に喉に詰まらせる場合が。

(N=205)



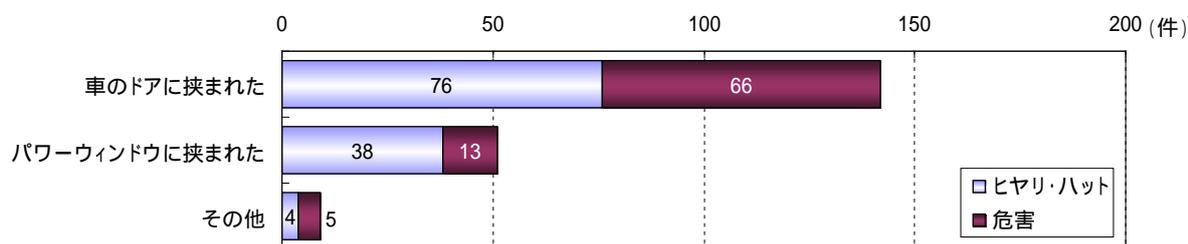
食品に関する事故では、飴をのどに詰まらせる事例が多かった。飴玉をのどに詰まらせる事例では、飴玉を口に入れながら、ソファでジャンプしたり、飛び上がった拍子にのどに詰まらせたという内容が多く、飴玉を口に入れているときは、激しく動き回るような遊びをしないよう注意する必要がある。

のどに詰まらせた食品としては、せんべい、ゼリーが飴に続いてあげられた。このほか、ベビー用のおやつ、果物、パン、ゼリーなど多岐にわたる食品があげられた。

項目	内容	年齢
飴を詰まらせた	・ 5年前、アメをなめている時に、ソファでジャンプをして遊んでしまい、アメが喉に詰まって急に目が白黒しました。すぐに気が付いて背中をたたいたらアメが飛び出したので、大事に至らなかった。	女子 2歳
	・ キャンディーをなめながら、自動車の玩具で遊んでいたところで、興奮して、飛び上がった拍子に、キャンディーがのどに詰まりかけた。比較的大粒のキャンディーで、なかなかとげづらいものだった。	男子 3歳
せんべい等を詰まらせた	・ 1歳になりたてのころ、赤ちゃん用のおせんべいを与えはじめのころ、口に入れると溶けるおせんべいなのだが、もともとよだれの量が少なく、よだれかけが必要ない息子だったので、口のなかで張り付いてしまったらしく、せき込んでミルクと一緒に嘔吐してしまった。	男子 1歳
	・ 7ヶ月からの表示記載のベビー用ウエハースをあげたら食道に詰まり、身体ごとひっくり返し背中をたたいて取り出した。	男子 1歳
ゼリーを詰まらせた	・ ちょっと目を離した際にゼリーを飲みこんでいた。ウウツと呻くような声で気づき慌てて子供をさかさまにして背中を叩いたが、直ぐには出てこず困った。無理やり口を開けさせて喉に指をいれやっとなげ吐き出させることができたが、気づくのが遅かったらと思うと今でも恐ろしい。	女子 2歳
その他	・ スーパーでナスをさわって、とげが刺さった。あかく腫れたものの、とげは抜けていたので消毒をして様子を見た	女子 2歳
	・ 息子が二歳ころ豆まきの後、豆を鼻の穴につめてしまいとれなくなった。けがはなかった。	男子 2歳
	・ 居酒屋で氷をたべさせたらゴクン！と飲み込んでしまった、苦しそうだったが背中を叩いたら出てきた。氷なのであまり心配はしなかったが、妻は大慌て。	男子 2歳
	・ するめをおしゃぶり代わりにしゃぶらせてるといいと聞き、あまり長いと喉を刺しそうだからと、5cm位に切って持たせていたら、気づいたらするめが見当たらず、喉の奥につまっていた。何とか取ろうと指を入れてみたが取れず、子供が泣いているうちにポロっと出てきた。	男子 1歳
	・ アジの骨がのどに刺さった。ご飯を飲み込むなどしても取れなかったため、近所の救急病院へ車でいった。	女子 3歳

サ 『車』では、ドアや窓の操作時に挟まれることが多い。暑い日の車内では金具などでのやけどにも注意。

(N=202)



車に関係する事例では、ドアや窓に子供の手や足を挟まれるケースが最も多かった。特に、運転席から窓等の操作をするときは、子供の様子をよく確認することが重要である。

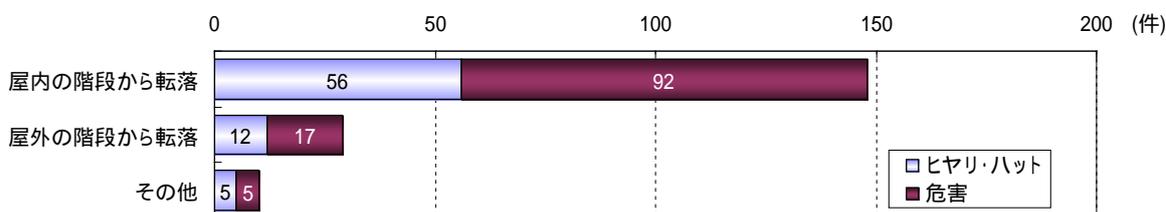
また、オートクローザーや電動ヘッドレストなどの便利機能でヒヤリとしたという事例もあった。

少数ではあるが、夏にチャイルドシートの金具が熱くなって腕などをやけどした事例もあった。夏は、短時間でも車の中が高温になるため、子供をチャイルドシートに乗せるときは、金具やバックルが熱くなっていないかよく確認する必要がある。

項目	内容	
車のドアに挟まれた	・自宅の駐車場に車を止めると前下がりになる。開放されたスライドドアのロックが外れるとドアは徐々にスピードを増し、閉まる瞬間はかなりの勢いになり子どもが挟まれそうに感じた。	男子 6歳
	・5年前、当時2歳の子供がドアを閉める際、手をドアにかけてしまった。オートクローザー付きのスライドドアだったため、ドアが勝手に閉まって子供の指を引きこんでしまった。	男子 2歳
パワーウィンドウに挟まれた	・子供がふざけてパワーウィンドウで遊んでいて、自分で指を挟んであわてていた。運転中だったので、すぐさま反応できなかった。助手席からはわかって何もできない。	男子 6歳
	・後部座席の子供が手を出していることに気が付かず、運転席側のスイッチでパワーウィンドウを閉めてしまい、危うく手を挟むところだった。	男子 1歳
その他	・車のサイドミラーが閉じる時手を挟まれた。幸い隙間が広がったので自分で手を抜いた。	男子 2歳
	・車のヘッドレスト（電動）を下げたら、子供が後ろの席からヘッドレストとシートの間に入っていたのに気付かず、はさんで泣いた。特にけがはなかった。	男子 2歳
	・チャイルドシートに乗っているときに、自分でチャイルドシートのベルトの間を抜けだそうとしてベルトで首を吊りそうになった。	男子 2歳
	・3年前、レジャー後に炎天下に駐車していた自家用車に乗り、チャイルドシートを装着する際、金具が子供の腕にあたり、左腕をやけど、今も後が残っている。	男子 3歳

シ 『階段』は、転落防止柵をつけていても、油断は禁物。ロック忘れて転落した事例も。

(N=187)

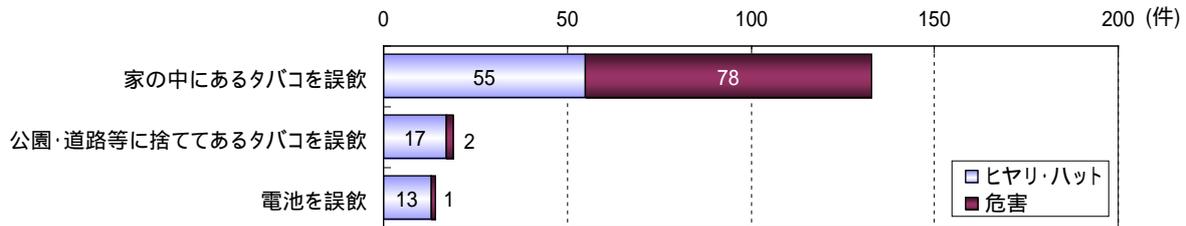


階段から転落する事故は、家の中の階段で転落するケースがもっとも多い。転落防止用のゲートを使用している場合でも、ロックを閉め忘れたり、兄弟がゲートのドアを開けてしまうなどして危害にあっている事例もあった。

項目	内容	
屋内の階段から転落	・1年程前、2歳だった息子が、いとこの一戸建ての家の階段の一番上から転げ落ちた。どうやら足を踏み外したようだが、階段に慣れていなかった為にすべった模様。激しく泣いたが、頭など打った様子もなく傷など特になく無事だった。	男子 2歳
	・二階で遊んでいた時目を離したときに当時三歳のお兄ちゃんが階段の柵をあけてしまい一歳になったばかりの弟が近くにいて一階まで落ちてしまいました。病院にも行きましたがたんこぶとアザだけですみました。	男子 1歳
	・1歳ぐらいの頃階段につけてあるゲートのロックを閉め忘れ階段の3段ぐらいまで落ちた。	女子 1歳
	・2歳頃に子供が階段を降りている途中、手に持っていたおもちゃを落としてしまい、立っている段の1つ下の段に落ちたおもちゃを拾おうとして2～3段墜落した。頭にコブができた。	男子 2歳
	・階段には転落防止用ガードを取り付けていたが、それをすり抜け階段を下りようとして転落、額を切り、救急車で運ばれて縫った。	女子 1歳
屋外の階段から転落	・2年前外出しようとして階段（コンクリート外階段）を下りていたら5段ほど階段を落ちた。コンクリートで頭を打ち痣・腫れが見られたので病院を受診しレントゲンを撮ってもらった。	男子 5歳
その他	・四年前、バスから降車の際階段を踏み外し、当時3歳だった娘が頭から落ち、おでこに大きなコブができた。今でも、角みたいな傷が残っている。バスの運転手は気付かず、そのまま行ってしまった。	女子 3歳

ス 『タバコ』の誤飲が多く発生。落ちた『タバコ』や外れた『電池』にも要注意。

(N=166)



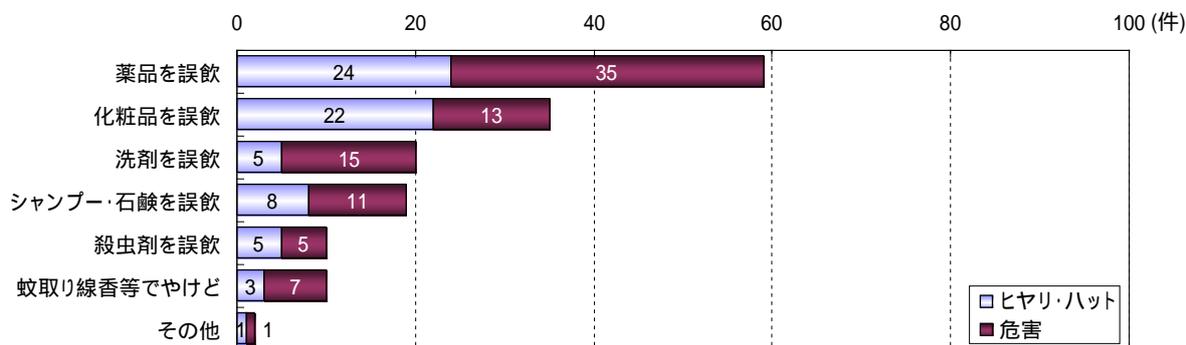
誤飲の中では、タバコの誤飲が最も多かった。家の中に置いてあるタバコを誤飲するケースがほとんどだが、公園や道路に落ちていたタバコを口に入れる例もある。また、タバコの吸殻を入れたペットボトルを飲み物だと思って誤飲してしまう事例もあった。

電池については、リモコンの電池やおもちゃについている電池を誤飲する事例が多かった。取扱には十分注意が必要である。

項目	内容	
タバコを誤飲	・ズボンのポケットに入れて、居間のイスにかけてあったズボンからタバコを取り出し、当時1歳の娘が1本半ほど食べてしまった。苦かったのか、泣き出し、親が気がついた。	女子 1歳
	・友人の家に灰皿代わりにしているペットボトルを子供がお茶だと思い吸殻が10本くらい入っていて、少しの水分を飲んだ。その後病院に行ったが、時間が経っていて胃の洗浄が出来ず点滴をした。	男子 1歳
	・自分のかばんの中からタバコを取り出して、食べてしまった。泣き声で気づき、すぐに吐かせたが、心配になり救急車を呼んだ。タバコそのままではあまり食べれるものではないので様子見で大丈夫となった。	女子 1歳
	・3ヶ月ほど前、当時2歳の息子が、保育園のお出かけで、公園で遊んでいたところ、園内に落ちていたタバコの吸殻を拾って、そのまま口に運ぼうとした。	男子 2歳
電池を誤飲	・おもちゃから電池が落ちていて、それを舐めていた。	女子 1歳
	・1歳の息子がリモコンで遊んでいて 落とした拍子に電池カバーと電池が飛び出し 電池をなめてしまった。	男子 1歳
その他	・7年前、当時1歳が部屋にあった耳かきの電池を飲み込んだ。耳かきには、ねじがついてなくて、テーブルにたたきつけて中身がでてしまったようだ。ボタン電池で、あわてて受診、レントゲンを取り誤飲を確認。しかし、場所がよく、食べ物の上にあったので便として出てくるのを待ちましようといわれ、2日後にでてきた。	女子 1歳

セ 『薬品』がラムネに似ていて興味津々。化粧品・洗剤・殺虫剤も誤飲している。

(N=155)

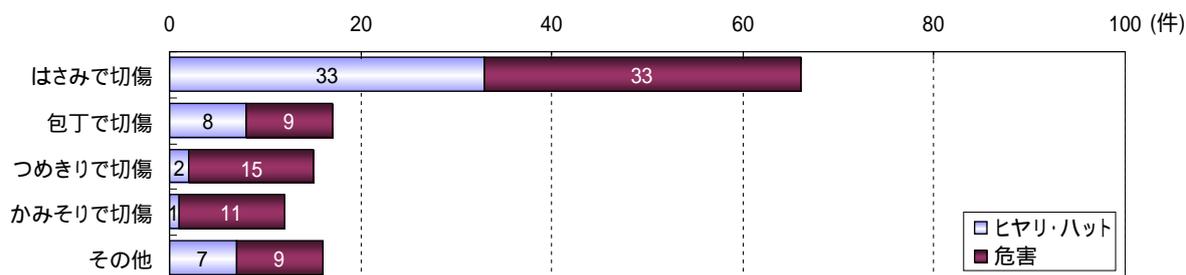


薬品や化粧品を誤飲する事例では、食べ物と間違えて口に入れてしまうケースがあった。薬の場合、シロップなど甘い味がついているものは、子供が好んで食べたり飲んだりした事例もあった。薬品類は、手の届かないところに置いておくことが重要である。

項目	内容	
薬品を誤飲	・親が飲むための風邪薬のピンのふたを開けて遊んでいた。いつも食べるラムネに似ていて興味を持ったらしい。かなり高いところにおいておいたのだが、自分で台を持ってきたようだ。	男子 1歳
	・2歳ころ、病院でもらった風邪薬（甘い味付けのシロップ）を1日3回飲ませていて、かたづけ忘れ、テーブルの上に置いたままにしていたところ、残りを全部飲みほしてあった（2日分程）。とても驚き、病院に電話したところ、家で様子を見て、何かあれば受診するように言われたが、何もなかった。	男子 2歳
	・小児用の錠剤の残り（11錠）を1日（2回に分けて）に全部食べた。本人はラムネ感覚（オレンジ味だった）のようで、こっそり持ち出して学校の休み時間に食べていたらしい。気がついたのが翌朝だったが、医者に連れて行った。診察では一気に服用したわけではなく、量も許容範囲ということで心配はそれほどしなくても大丈夫だといわれた。本人も特に異常はみられなかった。（前日はととて眠そうにしていたと配偶者談）	女子 6歳
化粧品を誤飲	・ポンプ式の化粧水の口部分の形状がおもしろいため、こどもがつい口に入れる時期があった。	男子 1歳
	・最近1歳半の娘が私の化粧品（マッサージクリーム）をふたを空けてヘラを使ってなめていた。食べ物に見えたらしい。	女子 1歳
洗剤を誤飲	・ここ最近、一歳の息子がおとなしく遊んでいると思ったら、洗面所の扉の開け防止の道具が付いてなく、中にあった洗濯洗剤をなめてました。すぐ発見したので少量で済み、受診はしていません。	男子 1歳
石鹸等を誤飲	・3か月ほど前、当時2歳の息子が、詰め替え用のハンドソープを少し飲んでしまった。水を飲ませるなどして様子を見たが、嘔吐や腹痛の症状はなかったため、病院には行かなかった。詰め替え容器が紙バックだったため飲み物と間違えて口にしたようである。	男子 2歳
殺虫剤を誤飲	・蚊が飛んでいたので殺虫剤を使用し子供の手の届かないところに置いたつもりが届いていて子供が殺虫剤を口にしていた。	男子 1歳
蚊取り線香等でやけど	・8年前、1歳の娘が、液体タイプの蚊取り器の穴に指を入れてやけどをした。	女子 1歳
その他	・冬場、当時4歳の息子が全身に乾燥による掻痒感があったため、保湿ローションを塗ったところ、発疹が出ました。発赤・本人より違和感の訴えがなかったため、使用を中止したところ、2・3日で緩和しました。アレルギーはありません。	男子 4歳
	・4歳1ヶ月の時、鏡台にしまってあるマニキュアを悪戯してマニキュアが付いた指で目をこすり痛みが出た。	男子 4歳

ソ 高いところや引き出しの中にある『はさみ・カッター』を持ち出す。

(N=126)



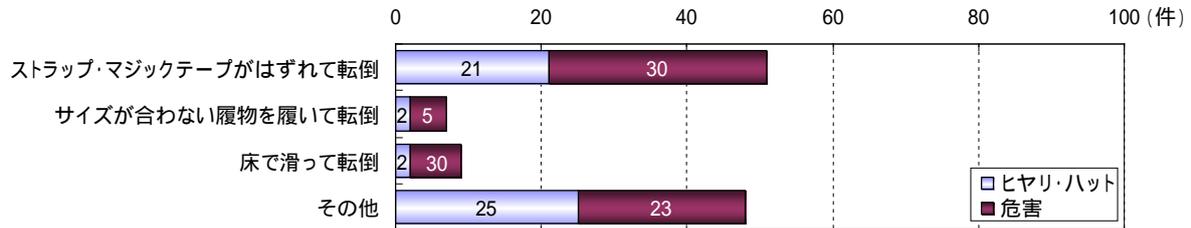
はさみに関係する事例では、いつの間にか子供がはさみを持っていたり、年上の兄弟が使っているはさみを取ったりしてヒヤリとするケースが多い。はさみなどの刃物は使用したらすぐにかたづける必要がある。

他には、カッターで手を切りそうになった事例などがあつた。

項目	内容	
はさみで切傷	・1年ほど前、いつの間にかハサミを握っていた。ハサミに興味を持っていたので、プラスチックの紙しか切れない子供用のハサミを渡していたが、やはり大人用のハサミに触ってみたかっらしい。テーブルにのぼり、上に置いてあつたハサミを自力で取っていた。	男子 1歳
	・私が、高い所の掃除をしているとき、娘が、眉毛用のはさみを勝手に取り出し、私のマネをしたかっらしく、眉毛を切るつもりが、まゆ付近の皮膚をはさみで切つてしまった。傷口が浅かつたので、自宅で消毒し手当てした。	女子 3歳
包丁で切傷	・先日、キッチンで普通に包丁を置いたまま冷蔵庫に食材をしまっている一瞬のあいだに、背伸びをして包丁の柄の部分がちょっとだけ見えていたらしく取ろうとして触つた瞬間に気付き大丈夫でした。	男子 1歳
	・息子が調理の手伝いをしているときに、包丁で白菜を切ろうとして手が滑り、左の手首付近を1cmほど切つてしまった。救急病院を受診し、処置を受けた。包丁は子ども用の物であつたが、対象年齢は9歳以上などとなつていた。	男子 5歳
つめきりで切傷	・テーブルにおいて置いた子供用のつめきりで手をきりそうになつた。	女子 1歳
	・爪きりを父親が使つた後開いたまま置いておき、それを口元に。一瞬のことではしたが、それを握つてしまい、少しですが唇を切つてしまいました。消毒をしてすぐに血も止まりました。	男子 1歳
かみそりで切傷	・父親の髭剃りをいたずらして(父親のみようみまねをした?) あごの下を少し切つてしまった。	男子 3歳
その他	・息子6歳のとき。ひとりで遊んでいるとおもつたら、ホッチキスを自分の指に打つてしまつて、流血した。私が普段触つてはダメと言つていたので、興味を示して自分で出していた。	男子 6歳
	・カチカチと刃が出てくるカッター(一般的な、刃を折つて使うカッター)で、刃が多く出すぎて指を切るところだつた。	女子 5歳

タ 『履物』は、紐やストラップのゆるみが転倒や事故の原因になる。

(N=115)



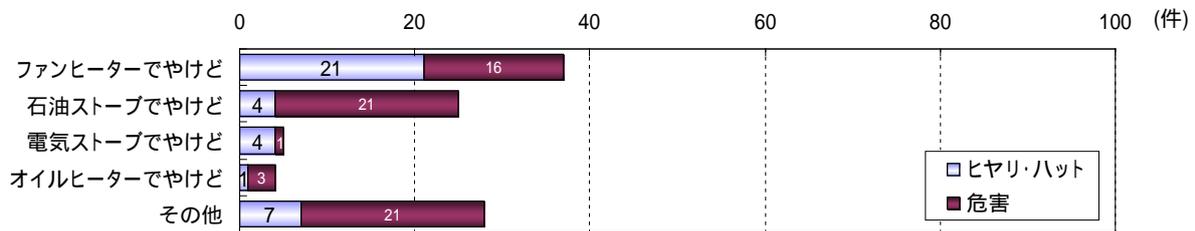
履物が関係する事例では、ストラップやマジックテープがはずれて転倒するケースが多かった。これに次いで、サイズが合わない靴を履いて転倒したケースや、床で滑って転倒したケースが多かった。

他には、靴紐がエスカレーターに挟まれるなど重大な事故につながる恐れがある事例もあり、子供の靴紐やストラップの状態をよく確認する必要がある。

項目	内容
ストラップ等がはずれて転倒	・道路を歩いていて、目の不自由な人用の突起物に足を取られ、その際に靴のストラップが外れてこけそうになったが、たまたま手をつないでいたため、大事には至らなかった。
	・履いていた靴はマジックテープ1本のストラップでとめるタイプだったため、完全にテープがとまっていなく、小走りになったとたん靴が半分脱げてころんだが、かすり傷ですんだ。
サイズが合わない履物で転倒	・3人兄弟の末っ子に兄弟のおさがりのサンダルを履かせていたが、サイズが大きかったため躓いて、膝、肘、手のひらを擦り剥き大けがをしてしまった。
	・3か月ほど前キッチンで大人用のスリッパをはいて転倒、しばらく足を地面につけたがらず、引きずっていたため念のため救急病院へ。
床で滑って転倒	・つい最近6歳の娘がサンダル履きでスーパーへ行ったところ、床で滑って転倒し、ひざと、ひじを打撲とすりむけた。
その他	・1年前、ひも靴でエスカレーターに乗った時、靴ひもがほどけているのに気付かず、そのまま乗ってしまい、靴ひもがエスカレーターの溝に入り込み、降車時に足をひねった。そのまま病院へ連れて行ったが、骨折等はなくねざですんだことは不幸中の幸い。
	・息子が3歳になるころ、活発に歩き回るようになっていた。夏にサンダルを履かせたが、指先を保護する形になっていなかったため、歩く動きでつま先が飛び出して、道を歩いているときなどにつま先やつめを怪我しそうになった。
	・マジックテープのサンダルを履かせていたが、マジックテープが爪の間に食い込み、1/3程度剥がした。

チ 『暖房器具』では危険を認識せず触ってやけど。近くで寝ていて熱風でやけどした例も。

(N=99)



暖房器具でのやけどの事例は、ファンヒーターや石油ストーブが関係する事例が多かった。中でも多いのは、子供が危険性を認識せずに、誤って手などを触れてやけどするケースである。

オイルヒーターやパネルヒーターでは、高温部に触ってやけどをした事例もある。

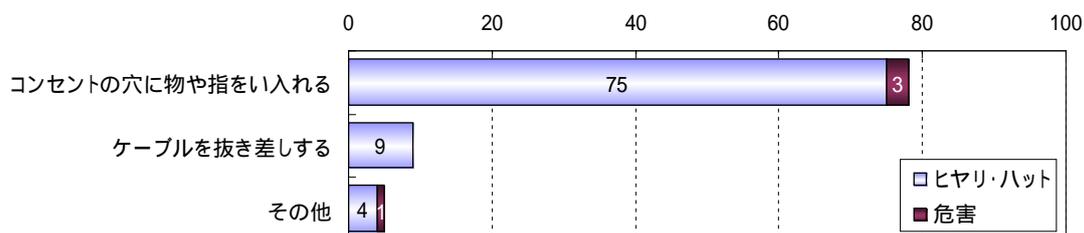
大きな事故につながりかねない事例としては、子供が暖房器具のスイッチを入れてブランケットが溶けた事例や、ガスストーブの中に紙を突っ込んだ事例があった。

暖房器具の使用に際しては、子供の手が届かないところ設置したり、安全ガードを取り付けるなどの工夫が必要である。ガードについてはガード自体が高温になるケースもあるため、過信せず、定期的に状況を確認する必要がある。

項目	内容	
ファンヒーターでやけど	・居間のガスファンヒーター（床に置くタイプ）の前で昼寝をしていた当時3歳の息子の背中の下の方がはだけて露出していたため、噴出し口から直接熱風があたり、低温やけどのような状態になっていた。	男子 3歳
	・ガスファンヒーターに別売りの吹き出し口ガードを付けて使用していた。金属製であったため高温になっており、これを触れたが、幸い大事にはならなかった。	女子 3歳
石油ストーブでやけど	・冬に石油ストーブを台所で使っていて、料理を作り終わったので、ストーブも消したのですが、子供は、消えてるから大丈夫と思って、触ってしまったようです。消したすぐは非常に熱いので、やけどをしてしまいました。すぐに医者に行きました。	男子 2歳
	・自宅にはストーブがないので、ストーブに対する危険意識がなく、実家のストーブに手の甲が触れてしまった。病院は受診せず、市販の薬と絆創膏で治した。	女子 5歳
電気ストーブでやけど	・1年半前、居間にあった電気ストーブの近くで当時3ヶ月の娘を抱っこしていたら娘の足がストーブの網にぶつかりそうになっていて気づいたら少し赤くなってしまった。	女子 1歳
オイルヒーターでやけど	・オイルヒーターを使用していて、子供がよく近づいていて危ないと思っていたが、あるとき上部の熱気がでるところに手をだそうとして火傷しそうになった。別売りの柵はあるようだが、本体自身にもっと安全性をもたせてほしいと思う。	男子 1歳
その他	・3年前、息子が1歳の時、パネルヒーターの上を触ってやけどしそうになった。その製品は熱くならないということで購入したが触ってみると熱かった。	男子 1歳
	・居間でごろ寝中に子供がカーボンヒーターのスイッチを入れ、近くにあったブランケットが一部溶けた。	男子 3歳
	・冬場に、朝はまだついていなかったストーブに触り大丈夫だったためか、夜にまたさわってしまいやけどしてしまった。	女子 1歳
	・去年の冬、当時3歳の長男がパネルタイプのヒーターで低温火傷してしまいました。『触っても火傷しない』『赤ちゃんの居るお家でも安心』と言うことだったので熱くないだけに、息子がじっと手を置いたままヒーターにあたっていたらしくいきなり痛くなって泣き出し、妹が発見して手を見たところ低温火傷してしていました。	男子 3歳
	・ガスストーブの中に、棒状にした紙を突っ込んでいた。すごい音がしたので、すぐに気がついた。	男子 2歳

ツ 『コンセント』には色々さし込む。コンセントに触れない工夫が必要。

(N=92)

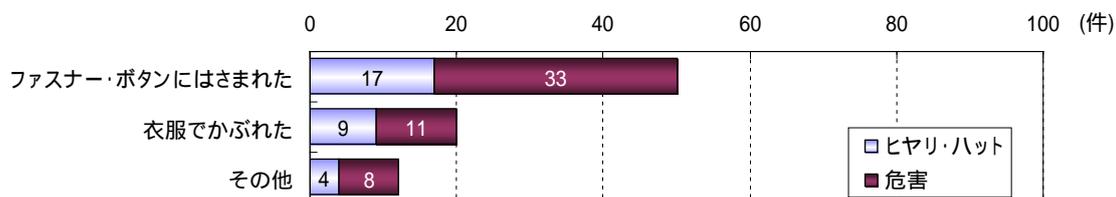


コンセントに関係する事例では、コンセントの穴に物や指を入れたケースが最も多かった。少数ではあるが、感電した事例もある。子供の手はよだれ等で濡れた状態になっていることが多いため、コンセントに触れないようにする工夫が必要である。

項目	内容	
コンセントに物や指を入れた	・息子が3歳くらいの頃、鍵を使って遊ぶことが楽しい時期があり、もう使わなくなった鍵を持たせて遊ばせていたところ、コンセントの穴をカギ穴に見立てて、鍵をさして遊んでいた。あやうく感電するところだった。	男子 3歳
	・息子が1歳のときです。ちょっと目を放した際にピンセットを持ち出し、それをコンセント（普段は扉の陰になっていて見えていない）に突っ込みショートさせた。間違いなく感電したはずだが片方の穴にしか入れなかったのが幸いしてか本人は「あっち」と言ってそのピンセットを私に渡しに来た。確かにピンセットは熱くなっていて片方だけ先が少し溶けていた。彼の手は特に火傷もなく赤くもなっていなかったので暫く様子を見たが特に変化は無かった。	男子 1歳
	・コンセント用に子供がいじらないようにガードをしていましたが、そのガードを子供が自分で取ってしまうことがありました。	女子 1歳
ケーブルを抜き差しする	・掃除機をかける時に2歳の息子がコンセントを抜いて遊ぶようになったので気をつけていたら、使用中に急に引っ張って抜いたのが原因なのか、コンセントからプラグが抜けた瞬間に火花が散っていた。	男子 2歳
	・コンセントのケーブルをひっぱってコンセントを触る。	男子 2歳
その他	・部屋の掃除をしていて少し目を離した際に子供たちが家の中を走り回って遊んでいた時にコンセントを踏んで足の裏を深く切った。傷が深いので病院に連れて行き足の裏を2～3針縫った。	女子 5歳

テ 『衣服』は、ファスナーやボタンに皮膚を挟まれるケガが多い。

(N=82)



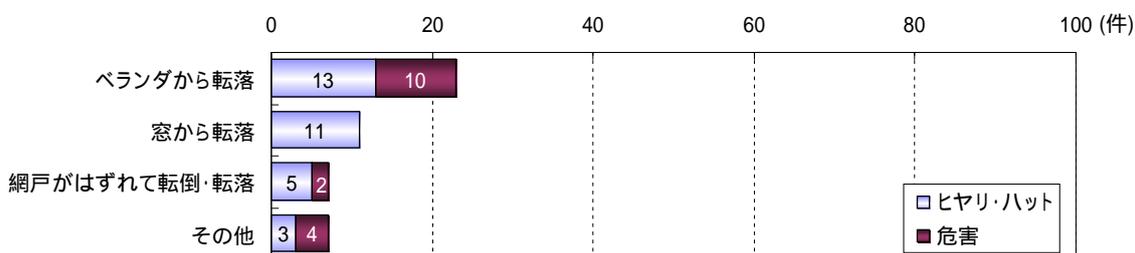
衣服に関する事例は、ファスナーやボタンに皮膚を挟まれた事例が最も多かった。ファスナーでは、ファスナーを上げるときに勢いあまって皮膚を挟んでいることが多い。

衣服でかぶれた事例は、挟まれた事例に次いで多かった。かぶれたものとしてあげられたのは、Tシャツ、タグ、セーター、ワンピースのレース部分、金属製のボタンなどであった。

項目	内容	
ファスナー・ボタンに挟まれた	・ジャンパーのファスナーをあげていたら上に上がりすぎて首の皮膚を挟んで内出血した。大きい目のファスナーだった。	男子 4歳
	・またの下でボタンを留めるタイプの服を着せていたとき、ボタンで内ももを挟んでしまった。お下がりのボディスーツ。	女子 1歳
衣服でかぶれた	・衣服量販店で購入した新品のTシャツを着せたところ、首や背中にかゆみを訴え湿疹が発生した。すぐに着せるのをやめたところ数日で治った。	男子 4歳
	・サイズタグで背中が痒くなったりかいてしまったり傷になってしまったりした事があります。	男子 5歳
その他	・フード付きのトレーナーを着せていたら、公園のジャングルジムのような遊具に引っかかった。もし上から吊るされたら首がしまるかもしれないと思った。	男子 2歳
	・電車で挟まれて抜けなくなったが、たまたま近くにいた おじさんが、引っ張って助けてくれた。	男子 3歳

ト 『ベランダ』では、室外機や椅子の上に乗って転落しそうになっている。

(N=48)



ベランダに関係する事例では、実際にベランダから転落し、入院した事故も報告された。エアコンの室外機や椅子を足場にしてベランダや窓から体を乗り出しているときに、保護者が気づき、危うく難を逃れた事例もある。ベランダや腰高窓からの転落は、一歩間違えると重大な事故につながりかねない。周辺に足場となるものを置かないなどの事故防止対策が重要である。

項目	内容	
ベランダから転落	・当時5歳の息子がベランダに干していた布団の上に乗っかり遊んでいて布団ごと落ちた。幸い一階だったので怪我もなく済んだ。	男子 5歳
	・娘が3歳のとき、怒ってベランダに出したら、いつの間にかベランダを乗り越え玄関前に落下した。玄関前に停めてあった自動車がクッションになり大事には至らなかった。しかし、救急車で病院に運ばれ検査のため一週間入院した。	女子 3歳
	・最近、3歳の娘がベランダに置いてあるエアコンの室外機の上に登り、さらによじ登って下をのぞいていて危うく転落するところでした。	女子 3歳
	・ベランダによじのぼっていた。	男子 5歳
	・ベランダにイスがあり、乗ってしまうと柵の高さになってしまい、柵に手をかけて上半身を乗り出していた。	男子 2歳
窓から転落	・ベランダではないが、今の窓（高さが80cmくらいのところにある窓）でそれまでは、子供がそこに登ることが出来なかったが、成長と共に登ることが可能になり、そこに登り身を乗り出していた。間違っただけで落ちれば8階なので、ぞっとした。	男子 5歳
網戸がはずれて転落	・子供が網戸をたたいて網戸がはずれ網戸ごと庭におちた。	男子 1歳
	・4歳の、息子が一才のころ、ベランダの網戸にもたれたところ、網戸がはずれ、ベランダに40cmほどの段差があったため、網戸ごと下へ落ちてしまった。	男子 1歳
その他	・1年前、ベランダの隙間から頭を出して外をのぞいていたが、抜けなくなり、工具を持ってきて外した。以後薄いアクリルの板を張り、入れられないようにした。	女子 2歳

ナ その他

項目	内容	
蛇口	・食洗機を使う時は、給湯器の温度設定を60度にするのだが、知らぬ間に、子供が洗面所で手を洗っていて、軽いやけどをした。	女子 2歳
歩行器	・娘が1歳のころ、2階の子供部屋で歩行器に乗っていた。ドアを閉め忘れ、廊下にて階段から歩行器ごと落ちた。	女子 1歳
ライター	・家族の者がタバコをすうが、ライターをテーブルの上に置きっぱなしだったため、子供がいたずらをしカレンダーを燃やしそうになった。	男子 4歳
塗料	・当時1歳の息子と一緒にお姉ちゃんの幼稚園にお迎えに行った時、座っていたベンチの塗料をむしり取って口に入れていた。すぐに口から出させた。	男子 1歳
抱っこ紐	・半年前子供を抱っこ紐で抱っこした状態で買い物中、前かがみで商品を見ていたら子供が頭からずり落ちた。抱っこ紐はオークションで中古を購入。	女子 1歳
ロウソク	・息子の1歳の誕生日の時、誕生日ケーキのろうそくを、フーって吹いてね、といってカメラを構えていた所、息子は何を勘違いしたのか、鼻から思いっきりフーッと炎を吸い込んでしまい、鼻の中が真っ赤になってしまいました。	男子 1歳
シェード	・リビングの窓にはシェードを使用しているが、その紐に子供の首が絡んで怪我をしそうになった。	男子 1歳
ガラス	・割れたガラスをゴミの日まで高いところに吊るし、保管していたが、娘が届くようになってしまい、その袋に手をついてしまい、手のひらを切った。医者で消毒程度で済んだ。	女子 3歳
ドライアイス	・1年ほど前、当時1歳の息子が購入したケーキの保存用として添付してあったドライアイスに触れ、やけどしそうになった。	男子 1歳
棒	・大人の真似をして、耳かきに似た形状の棒で弟の耳かきをし、鼓膜近辺に傷をつけた。	男子 1歳
歯ブラシ	・歯ブラシを持ったまま歩き転倒して目をつついた。	女子 3歳
ビニール袋	・わたしの見ている前でビニール袋をかぶった。もし見ていないところでもやったらと思うとゾットした。	男子 3歳
枕	・使用している枕はストローを切ったような物が入っているもの。一緒に昼寝をしていたが、先に目覚めた息子が枕のファスナーを開け、中身を鼻に入れ、取ろうとしても失敗し奥へ入ってしまった。困った後に母を起こし、ピンセットで取れた。	男子 2歳
とじひも	・目を離したすきに事務で使うとじひもを耳に入れて、大泣きし気が付いてティッシュを耳に入れたら出血していたので耳鼻科に連れて行った。	女子 2歳
線香	・2年前、当時2歳の娘が葬儀場で線香の先をつまんでしまい、指に軽くやけどをしました。	女子 2歳
本	・当時1歳の息子が本をかじって飲み込んでしまった。ホッチキスが付いているものでホッチキスの芯まで一緒に飲みこんでしまい、病院で診てもらった。胃の中にあっただが、後日便と一緒に出てきた。ペットボトルのラベルをかじって飲み込んでしまった時もある、便と一緒に出てきた。	男子 1歳

(3) 幼児の身の回りにおけるヒヤリ・ハットや危害の経験（選択回答方式）

4,064 人の回答者に、各危害内容とそれに関係する商品群に関して「ヒヤリ・ハットした」「危害にあった」経験の有無及びケガの程度について、選択方式の設問で収集した件数を図2に示す。家具への衝突を経験した人が最も多く、自転車・三輪車で転倒を経験した人や家具からの転落を経験した人も多かった。医療機関を受診した件数は、家具への衝突が最も多かった。危害内容別に見ると、転倒・衝突や転落・墜落の事故が多かった。

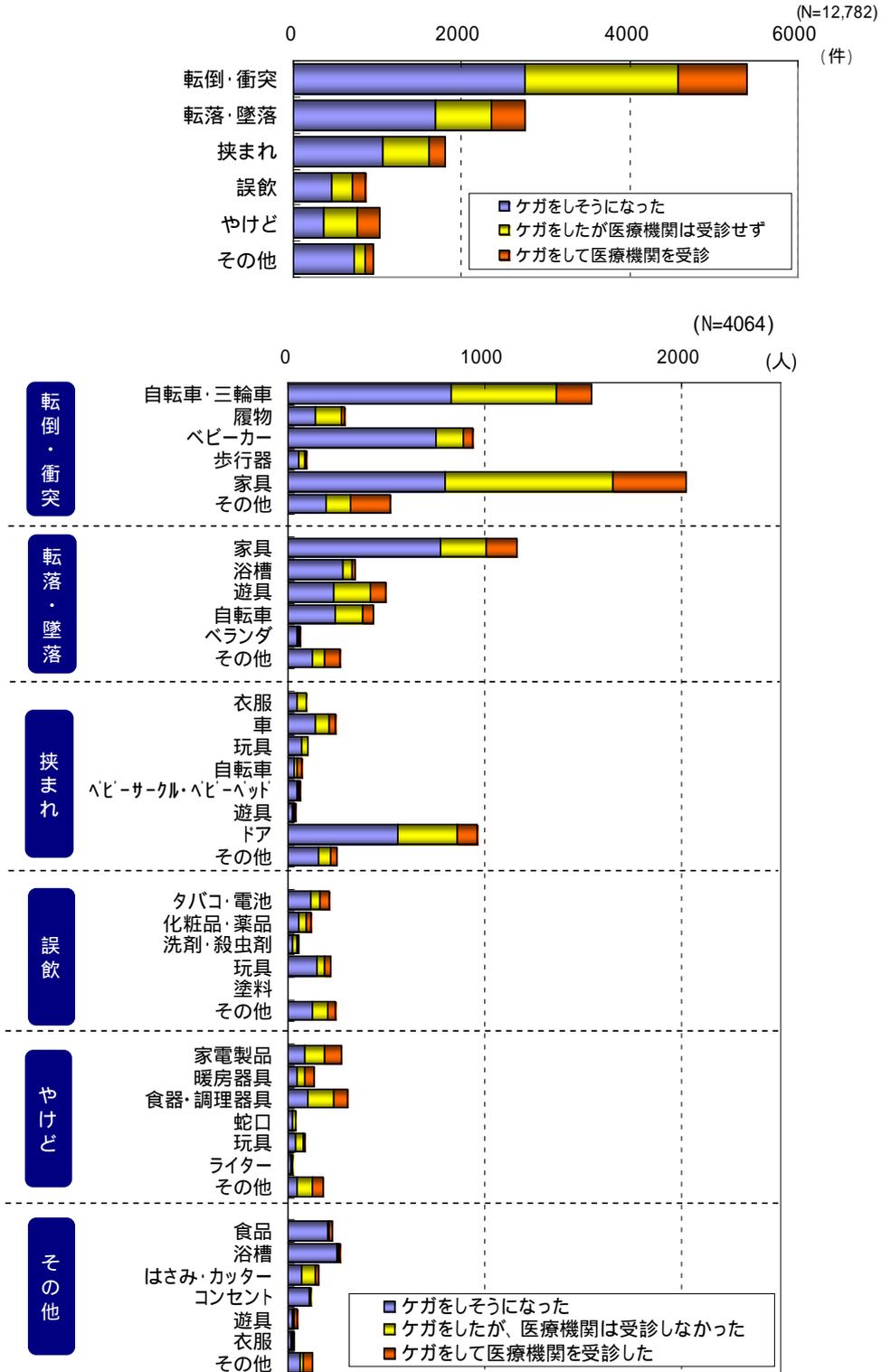


図2 幼児の身の回りにおけるヒヤリ・ハット/危害経験（選択回答方式）

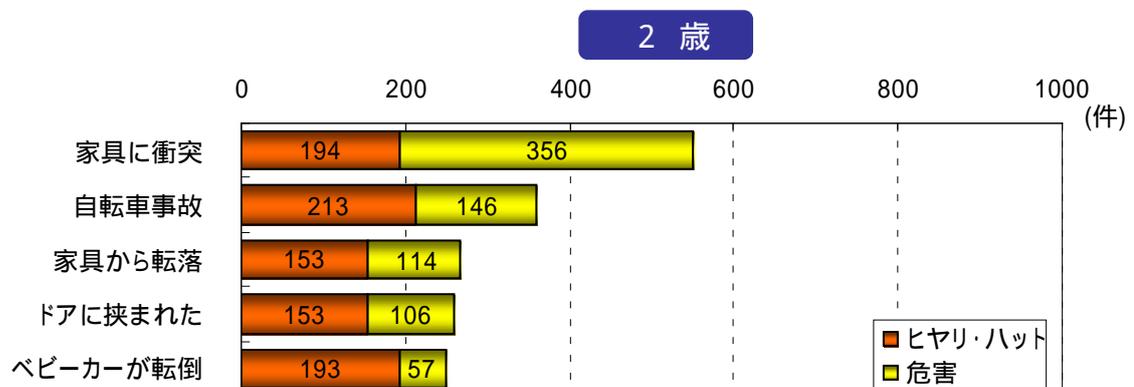
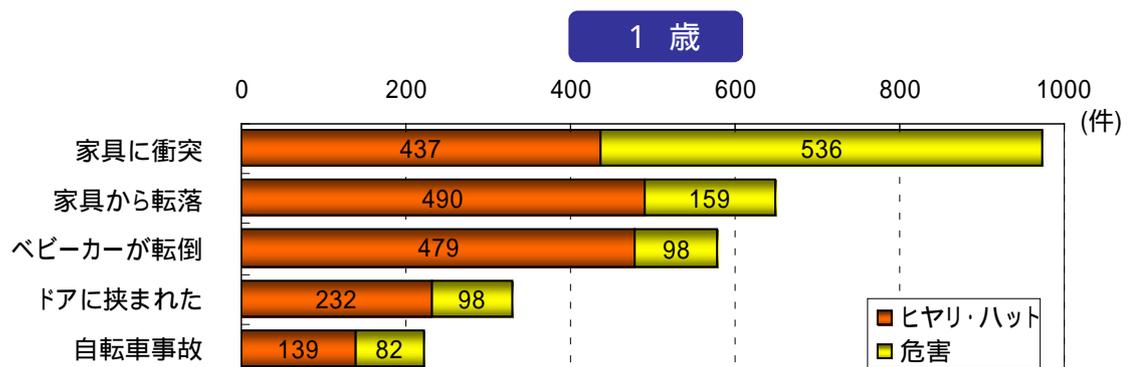
(4) 年齢別にみたヒヤリ・ハットや危害の経験（選択回答方式）

4,064 人の回答者に、各危害内容とそれに関係する商品群に関して「ヒヤリ・ハットした」「危害にあった」経験の有無を年選択回答方式で質問し、年齢別に集計したものを表 2 に、各年齢ごとにヒヤリ・ハットまたは危害経験の多い事例をあげたものを図に示す。

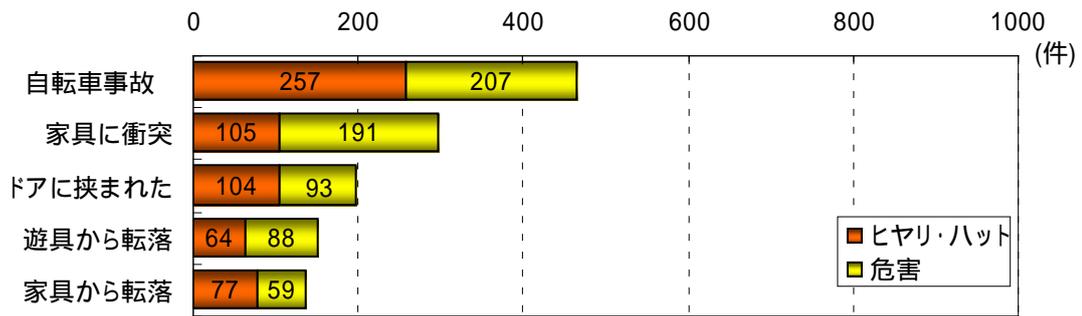
年齢別では 1 歳児の経験が圧倒的に多く、全体の約 4 割を占める。また、1～2 歳では、家具に衝突したり家具から転落する経験が多いのに対し、4 歳以上では自転車で転倒したり転落する経験が圧倒的に多く、2 位以下の「家具に衝突」等の経験数は、大きく減少している。

表 2 年齢別のヒヤリ・ハット/危害経験（選択回答方式）

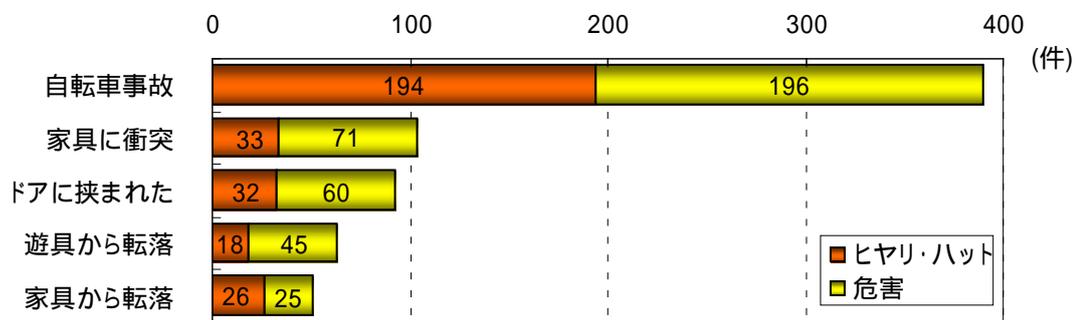
年齢	ヒヤリ・ハット (件)	危害 (件)	合計 (件)	割合 (%)
1 歳	3105	1802	4907	38.4
2 歳	1719	1374	3093	24.2
3 歳	1141	1110	2251	17.6
4 歳	529	647	1176	9.2
5 歳	363	466	829	6.5
6 歳	221	305	526	4.1
合計	7078	5704	12782	100.0



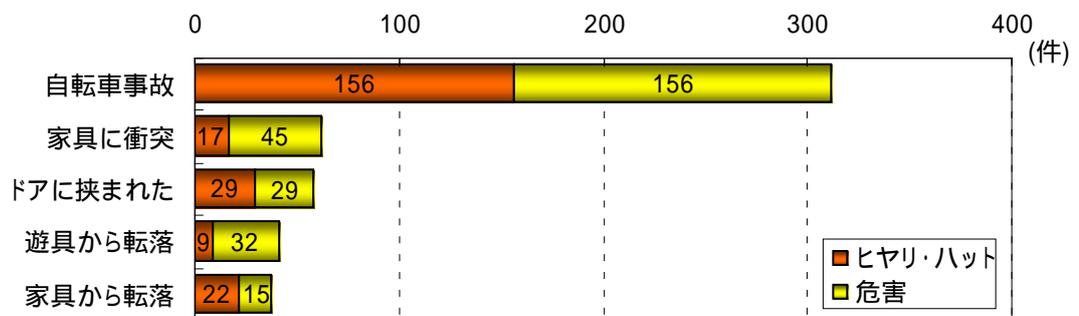
3 歳



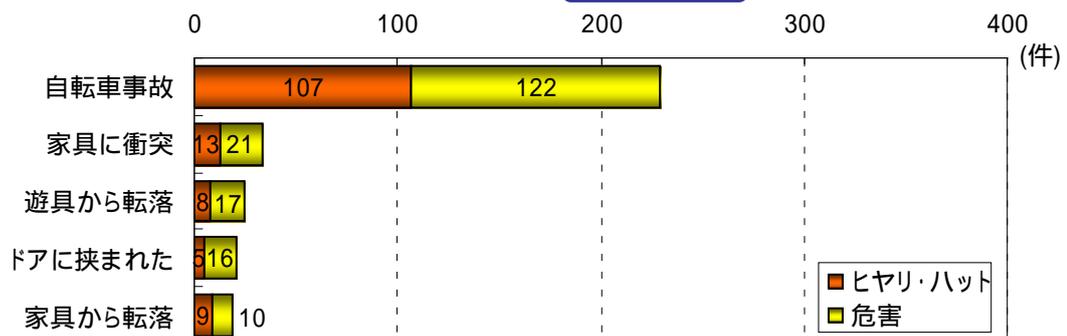
4 歳



5 歳



6 歳



4. まとめ

東京都に居住する1～6歳の子供がいる人4,064人を対象に、幼児の身の回りの「ヒヤリ・ハット」体験を調査し、約9,100件の体験を収集した。

- (1) 年齢別にみると、1歳児の経験が圧倒的に多く、全体の4割を占める。
- (2) 製品別では、家具に関する体験が最も多く、自転車、ドアがこれに続いた。
- (3) 1～2歳では、家具に衝突・家具からの転落が多いのに対し、4歳以上では自転車で転倒・転落した経験が突出して多い。
- (4) ケガの程度別に見ると、医療機関を受診した事例が多いのは、家具への衝突、自転車での転倒、家具からの転落であった。

5. 結果の活用

- (1) 幼児の身の回りの事故防止のポイントをまとめた「幼児の身の回りの事故防止ガイド」により、都民へ情報提供する。
- (2) 収集したヒヤリ・ハット体験を蓄積し、安全性に関する調査実施時に活用を図る。
- (3) 業界団体へ調査結果を情報提供する。